

2006年 8 月31日



やすひさの瓦版 (第70号)

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL089(941)4843 FAX089(941)4894

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

政治主導外交確立に向け常任理事国入り戦略を

7月5日未明、北朝鮮は国際社会の警告を無視し、弾道ミサイルを発射しました。私は南アフリカ出張を切り上げ、直ちに帰国、麻生大臣と共に事態に当りました。98年のテポドン1発射の際には、日本列島の頭越しに三陸沖に着水しながら、国連安保理はプレスリリース発出に留まりましたが、今回は官房長官を中心に対策チームが政府内に密かに設けられるなど事前準備も万端、ミサイル発射後、日本は直ちに安保理に国連加盟後初めての決議案を提出、麻生外相、安倍官房長官のぶれない連携の下、日本が中心となつて全会一致での決議案採択に漕ぎ着けました。

今回の政治主導外交は、日本外交史における新たなページを開いたと思います。ただ、これはたまたま日本が安保理メンバーであったため、迅速かつ強固な外交を展開できましたが、来年から3～6年間は日本は同委からはずれてしまいます。国益を守り、国際社会で責任ある平和外交を政治主導で行うためには、やはり安保理常任理事国入りが必要です。本当の意味で戦後体制を脱するためにも、次の政権は、腰を据えた「安保理入り戦略」をこの際改めて立て、外交方針の中心の一つにすべきだと思います。

オープンな日本、より貢献をする日本と日本人

この9ヶ月余り私は外務副大臣として、世界において日本と日本人が本来の力に見合った活躍をしていない一方、日本国内も、外に向かって「良いヒト、良いモノ、良いカネ」を十分受け入れるオープンな体制になっていないことを実感してきました。今後日本が、国際社会において実力相応の貢献をし、国内的にもよりオープンで、活力ある安定したパワーとしての地位を確保し、生き残るためにはどうすべきかを模索すべく、6月に「世界の中の日本・30人委員会」を立ち上げました。内外のエコノミスト、外交専門家、ノーベル賞受賞者、経営者、NGO、宇宙飛行士、アニメ関係者、若手官僚など、幅広い分野で活躍する実に多様なメンバーにお集まり頂き、①日本の規範形成力、②日本人の存在感、③日本のアピール力、④日本の受

容力、という問題意識の下、「この国のかたち」を議論し、8月末にも提言をとりまとめる予定です。

戦後の日本及び日本人の国際社会との関わりは、ある意味では明治維新の時期と比べても希薄だったかもしれません。例えば、手段としての英語力が極めて脆弱な中、国際機関などで活躍する日本人は極めて少なく、世界基準設定の現場にも日本人は余りいません。そして、日本独自の魅力や強さが存在しながら世界へのアピール力も不足、さらに日本で活躍する外国人はまだまだ稀です。

9月20日には自民党総裁選挙があり、日本の新たなリーダーが誕生します。世界の中で日本がどうあるべきか、長期的視野に立った総合戦略が必要です。



日本と日本人が実力相応の世界貢献をし、良いヒト、良いモノ、良いカネには日本を開放しよう。(「世界の中の日本・30人委員会」第一回会合 6/20)



北朝鮮のミサイル発射を受け、国際社会の一致した強い意思を国連安保理決議により北朝鮮に送った事の意義等につき議論。(NHK「日曜討論」 7/16)

地元のふれあいを大切に



地元の皆様に対する私からの活動報告は代議士としての責務。格差のない社会への要望など、ご意見も沢山頂きました。(雄郡東地区にて 6/28)



ポスト小泉改革の日本のあり方などにつき、スライドも利用して訴える。(新玉校区にて 6/4)



もうこれで6回目になる「アクティブはなの会」での講演。国際社会において、日本が正当な評価を得るためには何が必要か、などにつきお話をし、ポイントを突いた質問も多く受ける。(6/24)



頑張る人が報われ、チャレンジ、再チャレンジができる社会、そしてたくましく、温かい国を作る為に、さらに改革を継続すべきだ、と訴える。約400名の参加者の皆様、ありがとうございました。(第9回塩崎やすひと明日を語る会 5/27)



第12回明恭塾を開催。「今、時代が求める環境経営とは」とのテーマの下、私たちに出来る身近な環境保全を考えました。(5/27)



北朝鮮関連の国連安保理決議までに示された毅然とした日本外交と主要国との駆け引きの裏話、今後の日本外交のあるべき姿、などについて地元の皆様にご説明。(7/16)

「自民党四国ブロック大会」開催ご案内

来る9月の自民党総裁選挙に向けて、総裁候補を迎えて「自民党四国ブロック大会」を松山にて開催いたします。多くの皆様のご参加を頂き、日本の将来を共に考えたいと思います。

- 日時 9月2日(土)13:30~15:30
- 場所 松山全日空ホテル本館4F
ダイヤモンドボールルーム



四国四県連の代表者とともに来る9月の「自民党四国ブロック大会」について打ち合せ。(自民党本部 6/14)



発達障害児に対する効果的な療育方法が未だ定まらない中、独自の「コロロメソッド」を進めるコロロET(Educational Training)センターが、「発達障害児の自立支援におけるグループダイナミックスの活用法」と題して、セミナーを開催。(愛媛県武道館にて 7/1)



子育て支援対策や雇用対策の強化など新規の最重点項目を含め、平成19年度愛媛県重要施策提案・要望について加戸愛媛県知事から説明を受ける。(東京 6/8)

国会見学ツアー



国会議事堂前にて後援会の皆様と記念撮影の後、副大臣室にお越しいただき、日ごろの活動の雰囲気を感じていただきました。(6/6)



ヘクター・ピーターソン記念碑の前に、人種差別に倒れた多くの人を思う。(南ア・ヨハネスブルグに開館しているアパルトヘイト博物館 7/5)



東京での定例朝食会を開催。自民党総裁選など当面の政局見通し、日銀のゼロ金利政策解除、北朝鮮問題関連国連安保理決議における日本の一貫した外交姿勢、世界における日本のプレゼンス向上、等々、報告と持論展開を行う。安倍官房長官も飛入り参加。(7/13)



南アフリカへの途上、香港に滞在。81~82年にかけ、ハーバード学行政学大学院(ケネディスクール)にて同級生だったドナルド・ツァン香港行政長官を公邸に訪ね、久方ぶりに旧交を温める。(7/4)